

F134-41

259

特 271

190

國府縣地
圖
測實新最
縣方大
圖製會路樂和

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------|----------------|------------------|----------|---------------|---------|---------|---------|---------|----------------------------|---------|---------|------|
| 監 獄 同 | 地方 裁判所 同 | 聯隊 步兵七十二 同 | 測候 所同 | 縣 廳 大分町 | 公廳所在地 | | | | | | | |
| 字 佐 | 下 毛 | 日 田 | 玖 珠 | 直 入 | 大 野 | 南 海部 | 北 海部 | 大 分 | 速 見 | 東 國東 | 西 國東 | 郡名 |
| 四 日市町 | 中 津町 | 豆 田町 | 森 町 | 竹 田町 | 三 重町 | 佐 伯町 | 白 杵町 | 大 分町 | 日 出町 | 國 東町 | 玉 津町 | 郡役所 |
| 四 日市町 | 中 津町 | 豆 田町 | 森 町 | 竹 田町 | 三 重町 | 佐 伯町 | 白 杵町 | 大 分町 | 別 府町 水上 共二 警察署 | 國 東町 | 玉 津町 | 警察署 |
| | 中 津町 | 豆 田町 | | 竹 田町 | | 佐 伯町 | 白 杵町 | 大 分町 | 杵 築町 | | 高 田町 | 區裁判所 |
| 四 日市町 | 中 津町 | 豆 田町 | 森 町 | 竹 田町 | 三 重町 | 佐 伯町 | 白 杵町 | 大 分町 | 日 出町 | 國 東町 | | 稅務署 |

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5

始



大分縣地誌

和樂路會編纂



●總說

位置 東は海を隔て、四國、西は熊本縣、西北は福岡縣、南は宮崎縣、東北は周防灘。

管轄 豊後の十郡、豊前の内二郡、縣廳を大分町に置きけり。

面積 四百方里 **人口** 八十五萬餘

沿革 明治維新の際には日田縣を置かれしことあり。鐵道は小倉より宇佐に通ずるもの。驛路には

交通 豊前路、同別路、日向路、筑前及び筑後路、肥後路、同別路二線、杵築路、杵築より高田路、同海岸通、佐賀關路、佐伯路等あり、港灣には別府灣、杵築灣、白杵灣、佐伯灣、港に高田、竹田、富來、鶴川、安岐、守江、日出、別府、大分、鶴崎、佐賀關、佐伯、津久見等あり。

○東京府 三喜二里共町 ○大阪府 毫六里共町
○宮崎縣 早九里共町 ○福岡縣 共里十八町
○佐賀縣 早二里三町 ○熊本縣 共里十七町

物産 鹽、表、蘭席、硫黃、椎茸、海産物、花菖。

●豊後國

西海道十二ヶ國の一 舊高三十七萬八千九百九十二石

西は筑前、西北は豊前、西南は肥後、南は日向に接し、東は早吸海峡を隔て、伊豫に對す。東西二十三里、南北二十七里、面積三百四十方里。古は豊の國と云ひき。鎌倉の初め大友氏鎮西奉行を兼ね府内即ち今の太分町に治せり。建武中興以來戰爭虛日なく諸侯互に呑噬す。曾ては日田に郡代を置かれしこともありたり。明治維新の際には岡、白杵、杵築、佐伯、森、府内、日出の七藩ありたり。封建時代の爭奪想ふべきなり。

山岳 祖父岳、由布嶽、熊ヶ岳、高井ヶ岳、傾山、涌出山、權現岳、木ノ子岳、御岳山、釋迦岳、九重山、鶴見山、檜原山、大船山、息屋辻山等。

河川 大野川、流程三十四里、灌溉の利、舟楫の便あり、山國川、流域十三里、有名なる耶馬溪は此沿岸に在り、大分川、流域十三里。

●西國東郡(にしくにさき)

○高田町 郡中第一の都會、桂川の左岸に在りて玉津と相對す。港は深くして帆檣林立、馬關大分間の航路に當る。大分を距る十五里餘。

○高田城址 玉津の北に在り、大友氏の世、高田氏の築く所、文祿中に竹中氏の有に歸す。

○寶陀寺 臨濟宗、海西の法窟と稱す。大同三年創建、本尊釋迦如來、所在田原村。

○富貴寺 天台宗、本尊阿彌陀如來、養老二年僧仁開開基、田染村大字路に在り。

●東國東郡(ひがしくにさき)

○國東町 田深川の南に在る小都邑一、に鶴川と稱して港を有し、郡内の貨物多く茲に集散す。大分へ

べし、所在狹間村大字狹間。

○永慶寺 曹洞宗、寶治元年創建、所在東庄内村。

○杵原神社 縣社、所在八幡村大字八幡。

○鶴崎町 大野川口の一港邑船船輻輳す。

○湯の平の温泉 湯平村に在り、浴客多し。

○瀑布 大戸の瀑、落水の瀑、讀戶瀑、鮎返の瀑、浦の瀑等名高し。

●北海部郡(きたあまべ)

○白杵町 稻葉氏の舊城下、港は大坂細島間の航路に當り、汽船の出入しげし。城址は町の東方懸崖の上に在り、永祿中大友氏の築く所、秀吉のために國除せられし後、福原太田二氏の有となり、尋で稻葉氏の領となりき。

○大橋寺 前町に在る淨土宗、天正元年創建。

○圓通寺 天台宗、川添村大字廣内に在り。崇峻帝の四年日羅上人開基。

○佐賀關町 地藏崎の基部に在る繁華の地、港は上浦下浦の二區に分る。早吸峽を通過するの汽船和船皆此處に寄港し、貨物輻輳す。鰻、鮑、鯛は此地の特産たり。佐伯へ十五里餘、別府へ十一里十七町。

○早吸日女神社 縣社、前町上浦に在り。椎根津彦神社縣社同町下浦に在り。

○鑛泉 一に鷲泉と云ふ。藤河内の六曲溪に在り。

●南海部郡(みなみあまべ)

○佐伯町 國內良港邑の一、大分へ十五里餘、北は城山を負ひ、西南には番匠川繞り、東は海を隔て、四國に對す。海上には小島散在し、風景極めて宜し城山は即ち城址にして、西南の役當時は屢激戦ありし所なり。

○宇山城址 町の南、宇山の西に在り、佐伯氏の居城にして、大内義隆と激戦の地。

○瀑布 郡中にて有名なるもの、白瀑高さ廿一丈、幅五間。熊ヶ瀑、高さ十二丈、幅六間、音羽の瀑、高さ十一丈四尺。銚子口の瀑、高さ十八丈、幅四間等あり。

●大野郡(おほの)

○三重町 郡の東部に在る名邑にして、大分へ十里餘。一郡の機關多く此處に備る。

○神角寺 眞言宗、西大野村に在り。本尊は千手千眼觀世音菩薩、欽明帝三十一年の創建。寺域は丘陵の上にして四面林藪、此藪中には四國八十八ヶ所に擬したる石碑あり。

○瀑布 國內第一の瀑を沈墮の瀑とす、所在砂田村高さ六丈、幅五十間、水經十二條ありて數瀑列び懸るの想ひあり、其壯觀比なし。其他、原尻に原尻流宮野に轟の瀑、後田村に北畑の瀑、辨天の瀑、重

ト五里餘。花笠と稱す。

あり、山國川、流域十三里、有名なる耶馬溪は此沿岸に在り、大分川、流域十三里。

●西國東郡(おほいた) 郡中第一の都會、桂川の左岸に在りて玉津と相對す。港は深くして帆檣林立、馬關大分間の航路に當る。大分を距る十五里餘。

○高田町 郡中第一の都會、桂川の左岸に在りて玉津と相對す。港は深くして帆檣林立、馬關大分間の航路に當る。大分を距る十五里餘。

○高田城址 玉津の北に在り、大友氏の世、高田氏の築く所、文祿中に竹中氏の有に歸す。

○寶陀寺 臨濟宗、海西の法窟と稱す。大同三年創建、本尊釋迦如來、所在田原村。

○富貴寺 天台宗、本尊阿彌陀如來、養老二年僧仁聞開基、田染村大字路に在り。

●東國東郡(ひがしくにさき) 田深川の南に在る小都邑一、に鶴川と稱して港を有し、郡内の貨物多く茲に集散す。大分へ十五里餘。花産を産す。

○安岐町 國東町の南方三里に在る名邑、港に汽船の出入なきも帆檣林立、花産の輸出を以て著る。城址は安岐川の北岸に在りて海に臨めり、秀吉西討の後、熊谷直陳茲に封せられ、關ヶ原の役に戦死ののち廢城に歸しぬ。

○富來町 富來川の北岸に位する都會、國東町の北一里半餘、同名の港ありて汽船往來し、運輸の便多く、商業繁昌す。町の西に城址あり、武田某の築く所にして、建久以後大友氏の臣富來氏居城し、天正中、垣原氏封せられ、關ヶ原役に戦死後廢城となる

○兩子山 武藏町に屬する高山、其勢群峰を凌ぎ、山上は四國中國を双眸に收め、海觀も亦偉なり。山腹に總持院あり、天台宗、養老二年創建、仁聞開基

○奈多八幡神社 縣社、奈狩江村大字奈多の龜山に在り、地は東、豊後水道に臨み、眞帆片帆を見るべく、南には大熊小熊の二山並立し、北は御稔川を界とし、白砂青松相接して社殿を擁す。

●大分郡(おほいた) 國內第一の都會、縣廳の所在地、大分川は其東を流れ、高崎山は西に峙ち、貨物輻輳の要區たり。此地舊府内と稱し、國府の在りし所、大友氏世々の封なりしが、天正の亂後、小早川、福原、竹中、日根野、大給氏等相尋で封を受けぬ。東に千歳城址あり、慶長中福原直高の築く所にして、縣廳は茲に在り。

○佐賀關 七里二町

○安岐 十二里卅四町

○高田 十五里餘

○光西寺 眞宗大谷派、文明六年創建。

○西大分 港を大分と云ひ、大阪神戸馬關等の航路に當り、運輸の便多し。東に蓬萊園あり、園内の春日神社は貞觀二年の造營。春日浦は白砂青松數里に亘り、風光明媚、騷人間に名高し。

○寶戒寺 眞言宗、聖武帝の勅願所、豊府村に在り

○國分寺 天台宗、聖武帝の勅願所、賀來村に在り

○龍祥寺 臨濟宗、放生光林大和尚開基、庭園見る

城にして、大内義隆と激戦の地。

○瀑布 郡中にて有名なるもの、白瀑高さ廿一丈、幅五間。熊ヶ瀑、高さ十二丈、幅六間、音羽の瀑、高さ十一丈四尺。銚子口の瀑、高さ十八丈、幅四間等あり。

●大野郡(おほの) 郡の東部に在る名邑にして、大分へ十里餘。一郡の機關多く此處に備る。

○三重町 郡の東部に在る名邑にして、大分へ十里餘。一郡の機關多く此處に備る。

○神角寺 眞言宗、西大野村に在り。本尊は千手千眼觀世音菩薩、欽明帝三十一年の創建。寺域は丘陵の上にして四面林藪、此數中には四國八十八ヶ所に擬したる石碑あり。

○瀑布 國內第一の瀑を沈墮の瀑とす、所在砂田村高さ六丈、幅五十間、水經十二條ありて數瀑列び懸るの想ひあり、其壯觀比なし。其他、原尻に原尻瀧宮野に轟の瀑、後田村に北畑の瀑、辨天の瀑、重岡村に觀音の瀑、久原村には勇助落の瀑、矢田村に雌沈墮の瀑等あり。

●直入郡(なほり) 郡中の都會にして大分へ十一里餘、熊本街道に衝る一商區。岡城址は數十仞の懸崖にありて吉田稻葉の二川を自然の濠渠となし、要害無比。文治元年緒方氏茲に築き、建武中大友の支族居る。文祿二年中川氏移封し、累代茲に居城しぬ。此地、西南の役には兵火の卷となり、市街烏有に歸せしも漸次舊に復したり。

○光西寺 竹田に在る眞宗大谷派、本尊は阿彌陀如來、文祿二年創建、境内眺望に宜し。

○滿德寺 眞宗大谷派、竹田の北、豊岡村に在り。西南の役に兵火に罹りしも、其後改築す、三面は山にして庭園竹樹泉石に富めり。

○城原八幡神社 縣社、城原村に在り、此地は景行天皇、土俗土蜘蛛を征討のとき駐紮の所、仁平年間源爲朝の草創と傳ふ。

○建男霜凝日子神社 彌嶽村大字神原に在る縣社、民俗農桑の神と稱して尊信厚し。竹田より四里餘

○騎牟禮城址 城原八幡の南に在り、明治十年の役賊軍砲壘を築き官兵の山抗せし所、舊城は爲朝の築く所と言ひ傳ふ。

○湯原温泉 長湯村に在り、炭酸泉にして交通の便あり。其他、都野村に地藏湯あり。

○瀑布 高塚瀑、高さ八丈六尺、幅七間、白丹村に黄牛の瀑、高さ七丈八尺、幅十間、白丹村の稻葉山に、神田瀑、高さ七丈二尺、幅五間、福原村に、其他生咆瀨の瀑、陽目の瀑、千葉の瀑、勾當の瀑、雄瀑、雌瀑等各地にありくす。

●玖珠郡(くす) 久留島氏の舊城下、大分へ十四里、右に名草丘、左に岩扇山あり、南は平坦にして玖珠の流れあり。地は僻遠なるも郡内に於ける物産の集散場。

○瀧神社 北山田村大字戸畑に在り、創建不詳、天

延三年再建、地は萬年山の下にして玖珠川環流し、半島の状をなし、境内幽静、社傍に、魚返しの瀑、涙川、傘掛松、逢坂等の勝あり。

○魚返しの瀑 一名織月の瀑。國內第一の瀧にして瀧神社の傍に在り。高さ數丈、玖珠川の清流懸りて奇觀を呈するにて、下は碧潭をなす數百歩、鮎上る能はざるにより此名あり。

○鑛泉 南山田村に鑛泉寺温泉、壁湯の温泉あり。寒の地獄は飯田村に在る冷泉。

○瀑布 小河内瀑、高さ三十丈、幅六間、所在森町大字日出生、龍門瀑、高さ五丈餘、幅六間、東飯田村に、震動の瀑、高さ三十丈、幅四間、飯田村に、壁湯の瀑、高さ三丈、幅八間、南山田村に在り。

●速見郡(はやみ)

○杵築町 松平氏の舊城下、硫黄灘を隔て、伊豫の佐田岬を望み、南は佐賀關と相擁して別府灣を成す港あれども善良ならず、稍交通の便を缺く。大分へ九里餘、城址は町の東に在りて海中に斗出し、三面水をめぐらし、一面は岡阜を負へり。建長中大友氏の支族木村某の築く所、慶長より寛永に亘り、數氏の有に歸し、正保年間より松平氏の居城となる。

○日出町 木下氏の舊城下、杵築より西南三里、大分へ六里半、地は別府灣の西北隅、西に御倉崎、東に松ヶ鼻あり、港は水深く大船を泊するに足り、帆橋常に林立す。

○青柳城址 一名浮津城、即ち日出城なり。北に深濠を構へ南は海に枕み、風景頗る佳。建武中の創築にして、慶長六年木下氏姫路より移封せられて累世居城せし所。

○松屋寺 日出町に在る曹洞宗、本尊は釋迦如來。庭内の蘇鐵は周圍一丈、天下無比の大株。

○石垣原 豊岡の南に在る平野、慶長年間の古戰場

○別府町 國內屈指の良港邑、夙に温泉を以て名高くし、公共の浴場としては壯大の建造物あり、又、南に接近せる濱脇は戸數六百餘、温泉にて著る。

○瀑布 乙原雄瀑は別府に、其他、乙原雌瀑、鮎返しの瀑等一々枚舉に遑あらず。

●日田郡(ひだ)

○豆田町 山中の名邑、稍交通不便なれども商業は比較的盛なり、中津へ十三里十三町、別府へ十七里三十町、廣瀬淡窓は此地の人。

○隈町 隈川に沿へる小市街、舟筏は筑後に通ずるにより運輸の便に富み、本郡及び玖珠郡の貨物多くは茲に集散す。

○大原八幡神社 縣社、三芳村に在り、白鳳九年の

村、其他姉子瀑、彌五郎瀑、梅木瀑等とす。

●豊前國

四海道十二ヶ國の一 舊高三十三萬七千四百石

●下毛郡(しもげ)

○中津町、山國川の東岸海濱に在り、奥平の舊城下にして陸に鐵道、海に汽船、交通極めて便なり、城址は要害の地、往昔黒田如水の築く所。

○大江神社 中津城の南に在り、由緒正しき靈社、閻無神社は閻無濱に在り。

○耶馬溪 上津村に屬し、樋田以南、山國川の沿岸數里の間に亘る勝地なり、遊ぶには中津よりすべく行程三里餘、頼山陽天下第一と稱せしより名殊に高し、此地に在る羅漢寺は有名の古刹。

○薦神社 縣社、大畑村に在り、西に三角池あり。

○正平寺 天台宗、津民村の檜原山に在り、境内は勝地の一にして耶馬に遊ば、訪ふべし。

○長久寺 眞宗、三保村に在り、堂宇頗る壯麗なり

○毛谷村六助墓 毛谷村に在り、六助は加藤清正に仕へ、名を木田孫兵衛と改め、朝鮮役にて討死せる人、此墓は有志者が生地因みて建てしもの。

○大旗城址 大幡村大字加來に在り、今は耕地となるも尚、付城外堀等の名を存す、初めは元暦年中源義經築く所にして、天正十六年頃は加來統直の據りしもの。

●宇佐郡(うさ)

○宇佐町 郡の東北部に在る小市街、行橋より來る鐵道の終點なるも、商業は盛なりと言ひ難し。

○宇佐神社 官幣大社、宇佐町の龜山に鎮座、和氣の清應の故事を以て名高く、朝廷の御尊信深し、社殿三字、第一殿は應仁天皇、第二殿は比賣大神、第三殿は神功皇后を祭る。境内には攝社末社數ふるに堪へず。

○大樂寺 眞言宗、所在宇佐町、元享年間、後醍醐帝の勅願により、宇佐神社の大宮司到津公宣旨を蒙りて創建、開山は密道上人。

○光明寺 曹洞宗、天平十二年創立、所在和間村、

○長洲町 驛館川口に在り、豊州鐵道の終點地にして、貨物輻輳の要區、大分を距る十五里餘

○四日市町、中津より四里六町、往時は郡中第一の繁華なりしも、鐵道布設以來は長洲町に貨物集中し今は昔日の觀なし。

○神樂岳城址 龍王村に在り、建武年中宇都宮の抱城となり、永祿中は大友氏の有となり、天正十六年に破却せらる。

○東椎屋瀑 津房村大字東椎屋に在り、俗に雌瀑と呼ぶ、高さ二十三丈、絶壁より下りの状、恰も白龍の如し。東椎屋瀑は俗に雄瀑と稱せられ、南院内村

○魚返しの瀑 一名種月の瀑。國內第一の瀧にして瀧神社の傍に在り。高さ數丈、珍珠川の清流懸りて奇觀を呈するにて、下は碧潭をなす數百歩、鮎上る能はざるにより此名あり。

○鑛泉 南山田村に鑛泉寺温泉、壁湯の温泉あり。寒の地獄は飯田村に在る冷泉。

○瀑布 小河内瀑、高さ三十丈、幅六間、所在森町大字日出生、龍門瀑、高さ五丈餘、幅六間、東飯田村に、震動の瀑、高さ三十丈、幅四間、飯田村に、壁湯の瀑、高さ三丈、幅八間、南山田村に在り。

●速見郡(はやみ)

○杵築町 松平氏の舊城下、硫黄灘を隔て、伊豫の佐田岬を望み、南は佐賀關と相擁して別府灣を成す港あれども善良ならず、稍交通の便を缺く。大分へ九里餘、城址は町の東に在りて海中に斗出し、三面水をめぐらし、一面は岡阜を負へり。建長中大友氏の支族木村某の築く所、慶長より寛永に亘り、數氏の有に歸し、正保年間より松平氏の居城となる。

○日出町 木下氏の舊城下、杵築より西南三里、大分へ六里半、地は別府灣の西北隅、西に御倉崎、東に松ヶ鼻あり、港は水深く大船を泊するに足り、帆橋常に林立す。

○青柳城址 一名浮津城、即ち日出城なり。北に深濠を構へ南は海に枕み、風景頗る佳。建武中の創築にして、慶長六年木下氏姫路より移封せられて累世居城せし所。

○松屋寺 日出町に在る曹洞宗、本尊は釋迦如來。庭内の蘇鐵は周圍一丈、天下無比の大株。

○石垣原 豊岡の南に在る平野、慶長年間の古戰場

○別府町 國內屈指の良港邑、夙に温泉を以て名高し、公共の浴場としては壯大の建造物あり、又、南に接近せる濱脇は戸數六百餘、温泉にて著る。

○瀑布 乙原雄瀑は別府に、其他、乙原雌瀑、鮎返しの瀑等一々枚舉に遑あらず。

●日田郡(ひだ)

○豆田町 山中の名邑、稍交通不便なれども商業は比較的盛なり、中津へ十三里十三町、別府へ十七里三十町、廣瀬淡窓は此地の人。

○隈町 隈川に沿へる小市街、舟筏は筑後に通ずるにより運輸の便に富み、本郡及び玖珠郡の貨物多くは茲に集散す。

○大原八幡神社 縣社、三芳村に在り、白鳳九年の創建。初め岩松に鎮座。

○永山城址 所在月隈山。隈城址は日隈山に、雪岳の城址は權現山の東に在り。

○瀑布 伯母瀑、所在上津江村、櫻花瀑、所在中川

○中津町、山國川の東岸海濱に在り、奥平の舊城下にして陸に鐵道、海に汽船、交通極めて便なり、城址は要害の地、往昔黒田如水の築く所。

○大江神社 中津城の南に在り、由緒正しき靈社、閻無神社は閻無濱に在り。

○耶馬溪 上津村に屬し、樋田以南、山國川の沿岸數里の間に亘る勝地なり、遊ぶには中津よりすべく行程三里餘、頼山陽天下第一と稱せしより名殊に高し、此地に在る羅漢寺は有名の古刹。

○薦神社 縣社、大畑村に在り、西に三角池あり。

○正平寺 天台宗、津民村の檜原山に在り、境内は勝地の一にして耶馬に遊ば訪ふべし。

○長久寺 眞宗、三保村に在り、堂宇頗る壯麗なり

○毛谷村六助墓 毛谷村に在り、六助は加藤清正に仕へ、名を木田孫兵衛と改め、朝鮮役にて討死せる人、此墓は有志者が生地因みて建てしもの。

○大旗城址 大幡村大字加來に在り、今は耕地となるも尚、付城外堀等の名を存す、初めは元暦年中源義經築く所にして、天正十六年頃は加來統直の據りしもの。

●宇佐郡(うさ)

○宇佐町 郡の東北部に在る小市街、行橋より來る鐵道の終點なるも、商業は盛なりと言ひ難し。

○宇佐神社宮 官幣大社、宇佐町の龜山に鎮座、和氣の清麿の故事を以て名高く、朝廷の御尊信深し、社殿三宇、第一殿は應仁天皇、第二殿は比賣大神、第三殿は神功皇后を祭る。境内には攝社末社數ふるに堪へず。

○大樂寺 眞言宗、所在宇佐町、元享年間、後醍醐帝の勅願により、宇佐神社の大宮司到津公宣旨を蒙りて創建、開山は密道上人。

○光明寺 曹洞宗、天平十二年創立、所在和間村、

○長洲町 驛館川口に在り、豊州鐵道の終點地にして、貨物輻輳の要區、大分を距る十五里餘

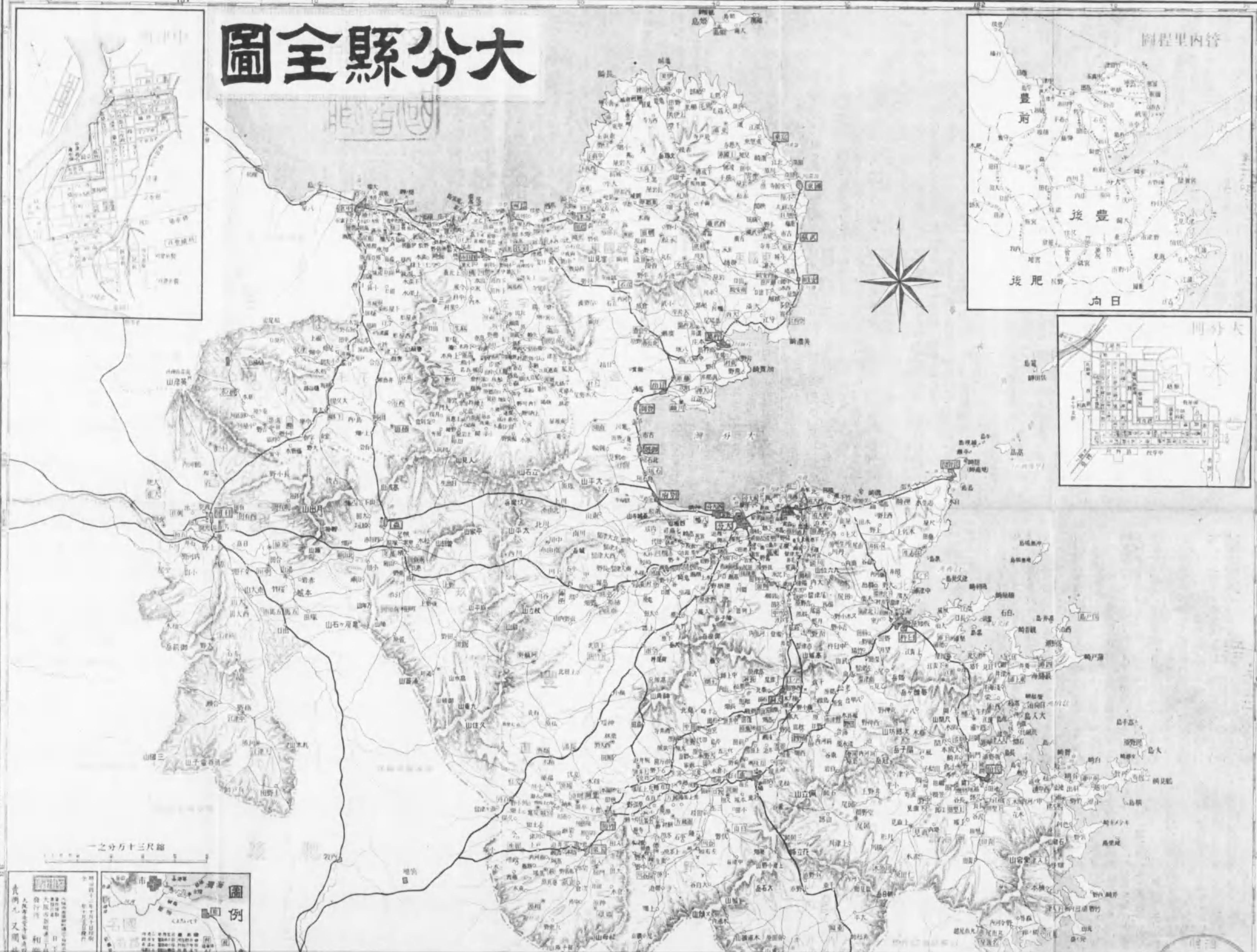
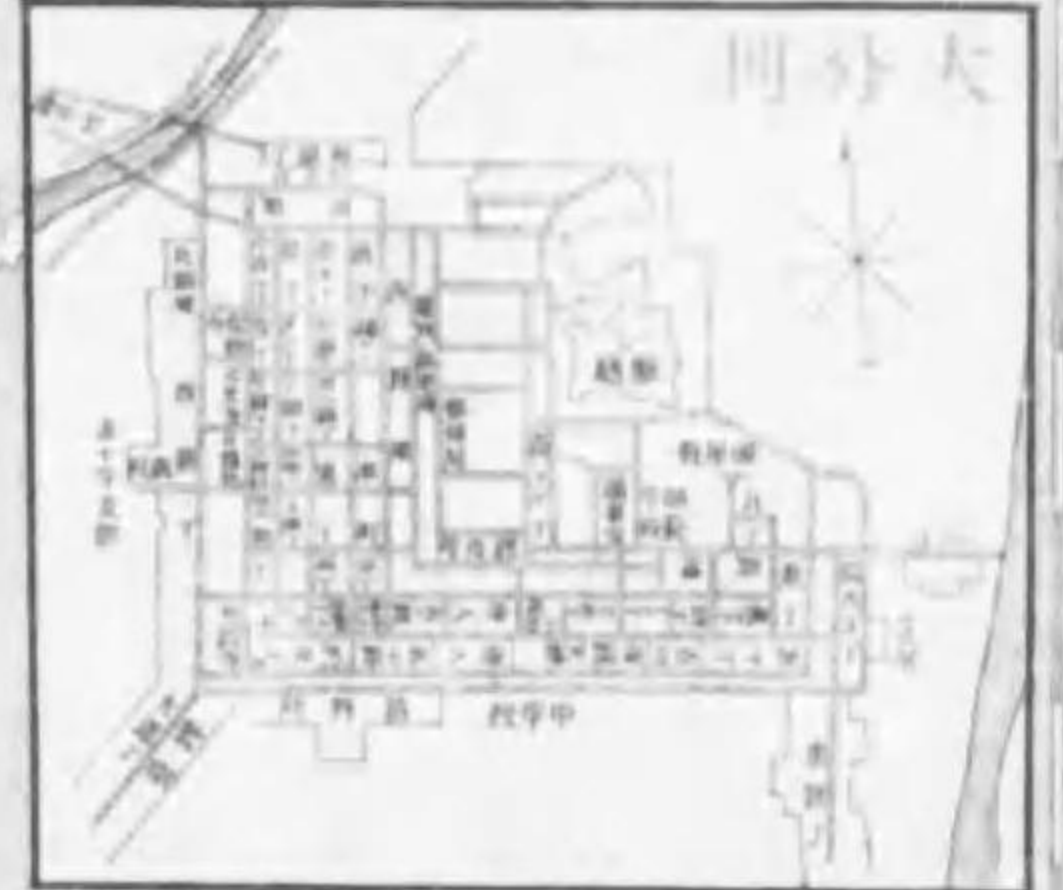
○四日市町、中津より四里六町、往時は郡中第一の繁華なりしも、鐵道布設以來は長洲町に貨物集中し今は昔日の觀なし。

○神樂岳城址 龍王村に在り、建武年中宇都宮の抱城となり、永祿中は太友氏の有となり、天正十六年に破却せらる。

○東椎屋瀑 津房村大字東椎屋に在り、俗に雌瀑と呼ぶ、高さ二十三丈、絶壁より下りの狀、恰も白龍の如し。東椎屋瀑は俗に雄瀑と稱せられ、南院内村大字東椎屋に在り、高さ四十丈餘、山谷震動三伏も猶寒を覺えしむ。

○龍泉寺瀑 明治村大字富貴野に在り、高さ廿一丈前の二瀑に劣るも附近は風景に富む。

大分縣全圖



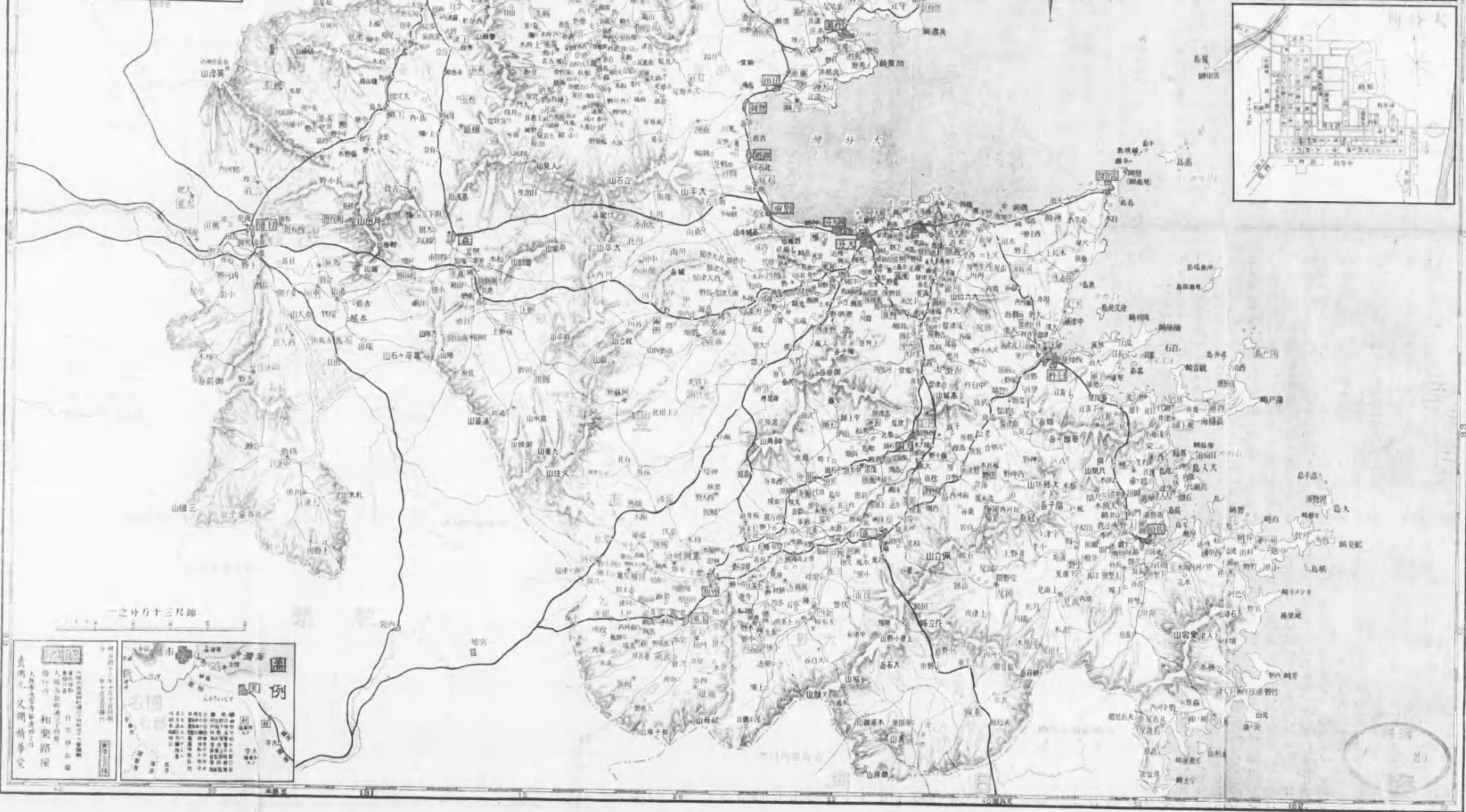
一之分方十三尺縮

| 圖例 | |
|----|------|
| ○ | 市 |
| ● | 町 |
| ▲ | 村 |
| ■ | 大字 |
| □ | 郡界 |
| — | 縣界 |
| — | 國界 |
| — | 鐵道 |
| — | 主要道路 |
| — | 次要道路 |
| — | 河流 |
| — | 山脈 |
| — | 海岸線 |
| — | 島嶼 |
| — | 湖泊 |
| — | 森林 |
| — | 其他 |

6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 5

八の力新工圖

肥前國



一之分万十三尺縮

圖例

| | |
|-----|-----|
| ▲ | 市街 |
| ● | 町 |
| ○ | 村 |
| ■ | 山頂 |
| △ | 山麓 |
| □ | 河川 |
| — | 道路 |
| ... | ... |

大正八又開拓年受

指271
190

和樂路屋發行地圖目錄

里行程詳密
旅行案内
實用日本全圖
實價金廿八錢
和樂路屋發行
六年製圖
然非圖訂
六製圖訂
事便機校
便益河正
細の山正
雅唱等古
雅唱等古
往來古蹟
示航に悉
川を悉く
同の少は
縣界を悉
度名を悉
最苦寫案
場所を悉
君圖を悉

| | | | | | | | | | |
|----------------|--------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|---------------|---|--|
| ○畿内全圖 實價拾五錢 | ○四國全圖 拾五錢 | ○東京市街全圖 拾五錢 | ○京都市街全圖 拾六錢 | ○大阪市街全圖 拾六錢 | ○英字大阪全圖 參拾五錢 | ○廣島市街全圖 六錢五厘 | ○德島市街全圖 八錢 | ○名勝旅行地圖 一枚六錢 近畿之部 北國及奥羽 東海四國東之部 四國中國九州 出來 近畿 | 大さは ●○○○印 ●印 ○印 ○印 ○印 ○印 ○印 ○印 ○印 ○印 ○印 |
|----------------|--------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|---------------|---|--|

格價刷印質紙論勿は圖製查調は圖地の行發店弊
れたし爲くな事ゝる忘を志の實忠もに點のれ何
錢貳券郵は方の用入御本見候度れさ下用信御ば
ふ乞をし遣御

店書屋ぢらわ下日 區西市阪大 角目丁三通町新

終